

<p>つつみひろみ</p> <p>堤裕美 (准教授)</p>	
① 専攻	幼児体育、体力学
② 主要学歴・学位	平成 17 年 3 月 茨城大学教育学部人間環境教育課程健康コース卒業 平成 22 年 7 月 筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科体育科学専攻修了 博士 (体育科学)
③研究業績 (主要著書・論文・その他)	<p>論文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「不安定な接地面上での運動遊びが幼児の運動能力に与える効果」(「発育発達研究」第 47 号 平成 22 年 5 月)</li> <li>・「不安定な接地面での両足連続跳躍における幼児の身体コントロール能力」(「体育学研究」第 55 巻 1 号 平成 22 年 6 月)</li> <li>・「幼児の不安定面における連続跳躍動作に及ぼす年齢差の影響」(「身体運動文化研究」第 16 巻第 1 号 平成 22 年 12 月)</li> <li>・「親子で行うリズム体操の創作を通じた保育体育の取り組み」(「札幌大谷大学紀要」42 巻 平成 24 年 3 月)</li> <li>・「不安定面上で顕在化するボールリフティングの技能差」(「体育学研究」第 59 巻 1 号 平成 26 年 6 月)</li> </ul> <p>口頭発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼児における弾性動揺体上での運動遊びが連続跳躍動作の発達に与える影響」(第 58 回「日本体育学会」平成 19 年 9 月)</li> </ul> <p>ポスター発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「幼児における弾性動揺体を用いた連続ジャンプの向上要因の検討」(第 57 回「日本体育学会」平成 18 年 8 月)</li> <li>・「幼児の両足連続跳躍動作における時間的および空間的調節能力の検討」(第 60 回「日本体育学会大会」平成 21 年 8 月)</li> <li>・「不安定面での運動遊びが安定面での連続跳躍課題の成績に与える効果」(第 61 回「日本体育学会」平成 22 年 9 月)</li> <li>・「幼児の随意的な動作速度調節能力における発達の特徴と生育環境の影響」(第 10 回「日本発育発達学会」平成 24 年 3 月)</li> <li>・「幼稚園における特別な支援を要する幼児の個別の指導計画の分析②」(第 65 回「日本保育学会」平成 24 年 5 月)</li> <li>・「子どもの体力低下に対する幼稚園教諭の実感調査」(第 64 回「日本体育学会」平成 25 年 8 月)</li> <li>・「幼児の足部形態および足部機能と運動能力との関係」(第 66 回「日本体育学会」平成 27 年 8 月)</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センター「んぐまーま」10 周年記念シンポジウム実践報告(札幌大谷大学短期大学部保育科 平成 27 年 10 月)</li> </ul>

	・子どものスポーツライフ・データ 2015-4～9歳のスポーツライフに関する調査報告書- (笹川スポーツ財団 平成 27 年 12 月)
③ 社会的活動	笹川スポーツ財団 SSF スポーツライフ調査委員会 (平成 27 年 4 月・現在)
⑤ 主な所属学会	日本体育学会、日本発育発達学会、日本保育学会
⑥ 主要担当科目	「健康の指導法」「身体表現の指導法」「幼児の体育」「生涯スポーツ実技」 「体育理論」「保育実習Ⅱ事前事後指導」「卒業研究ゼミナールⅠ・Ⅱ」
⑦ その他	研究テーマ 遊びを通じたからだづくりの可能性／ライフスタイルの経年変化に伴う子どものからだや体力・運動能力の変化